

1. 北海道（地域別調査機関：（株）北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	通信会社（企画担当）	・これまでみられなかった具体的な照会数が増えており、今後に期待が持てる。
	やや良くなる	百貨店（販売促進担当）	・比較的暖冬であったため、例年に比べて暖房費や除雪費用などが浮いた家庭が多いと見込まれ、春の行楽やファッションへの支出が増加することが期待できる。
		家電量販店（経営者）	・釧路では今年10月から地上デジタル放送が開始されるため、買い控えしていた客に動きが出てくる。
		観光型ホテル（スタッフ）	・依然として国内旅行者は沖縄に集中しているが、道内各地域で開催が予定されているイベントに対する盛り上がりもみられ、前年を上回るペースで予約が入っている。
		旅行代理店（従業員）	・2～3月の海外旅行が前年を超えているほか、国内旅行も先行販促が効き、1月になってから申込が増加して、前年を超えるようになってきた。4月は選挙の影響で販売量の低迷が予測されるが、全体としては上向いてくることが期待される。
		旅行代理店（従業員）	・来客数の活発化が数字となって現れてくることが期待される。
		旅行代理店（従業員）	・休日の日並びが良いため、4月以降の先行受注が好調に推移している。
		旅行代理店（従業員）	・徐々に来客数及び販売額が増えてきており、今後についても期待できる。
		美容室（経営者）	・前年の秋以降、売上は前年比で横ばいか数パーセントの減少だったが、今月はわずかではあるが増加に転じており、新商品の販売も好調であることから、今後についても期待できる。
	変わらない	商店街（代表者）	・客の高齢化、後継者不足などから、2店舗の閉店があったが、その一方でホテルの建設が進んでいるほか、飲食店関係の進出も予定されているなど、昼と夜の明暗が分かれてきている。
商店街（代表者）		・今のところ、春物にこれといったトレンドもなく、爆発的に売れるようなデザインも出ていないため、今後についても特に変わらない。	
一般小売店〔酒〕（経営者）		・昨年後半から毎月の売上は一進一退を繰り返しているため、大きく好転するとか大きく落ち込むということは当面考えづらい。	
百貨店（売場主任）		・入進学や返礼ギフトの需要がある程度見込める。また暖冬の影響で春物の動きが少し早まることも予想される。	
スーパー（店長）		・節水型洗濯機、省エネ冷蔵庫といった高機能や環境配慮をうたった商品、有機野菜、100%ジュース、特定保健食品等の健康関連商品は高価格にもかかわらず、引き続き堅調な販売動向を示している。またデフレ脱却とまではいかないが、薄型テレビやレトルトカレー等の一部の商品群では低級品から中級品へのボリュームゾーンの移行が進行し始めている。	
コンビニ（エリア担当）		・夕張市の財政破たんの影響で、必要以上の買い控えが生じ、売上が苦戦することが見込まれる。必要以上の買い控えにより売上の苦戦が予測される。	
家電量販店（店員）		・パソコンの新OSが発売されるので、今後についても期待できる。	
家電量販店（地区統括部長）		・薄型テレビの販売台数は、引き続き増加傾向にあると見込まれるが、単価ダウンが著しい。パソコンの新OS発売による売上の増加を期待したい。	
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）		・原油価格の低下及び暖房用灯油の在庫増により石油製品の価格が下落し、需要が増大することが見込まれる。	
高級レストラン（スタッフ）		・2～3月の予約件数は前年を超えているが、単価が上昇しないため、売上に結びつきにくい。道内客は回復してきているものの、売上に影響するほどではない。また4月の地方選挙が終わるまでは、夕食の売上は増えないことが見込まれ、全体としては変わらない。	
スナック（経営者）	・旭川は観光客が増えてきているが、飲食店街にとってはそれほどメリットがある訳ではなく、来客数の増加にはなかなか難しいものがある。また4月には選挙があるため、更に悪くなる可能性もある。		

		観光型ホテル（経営者）	・最近は前年比の動きがほとんど変わらないので、今後についても変わる要素が見当たらない。
	やや悪くなる	スーパー（店長）	・競合店がオープンした中であって、生鮮食料品は非常に健闘しているが、一般食品の不振がずっと続いており、今後についてはやや悪くなるが見込まれる。
		コンビニ（エリア担当）	・暖冬により漁獲量が減少していることから、地元に資金が落ちず、経済環境が悪化することが見込まれる。
		観光型ホテル（経営者）	・本州からのツアー客及び海外客が頭打ちの様相を呈している上、地元客の不調もあり、今後の見込みは厳しい。選挙といったマイナス要因もあり、入込客数の鈍化が懸念される。
	悪くなる	タクシー運転手	・札幌では、規制緩和以後、タクシーの台数が増えており、利用客が増えないなかで台数だけが増えているので、これからますます大変になってくる。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・地方選挙関連の特需が出てくることが見込まれる。
		建設業（経営者）	・公共工事の発注が本格的に始まると同時に、民間工事についても融雪後の引き合いが出てくるので、マインド面でプラスとなり、実需も少しずつ発生する。
		その他サービス業〔システムハウス〕（経営者）	・受注単価の見直しについて柔軟な雰囲気が出てきている。
	変わらない	輸送業（支店長）	・本州、道内とも景気をけん引しているのは製造業だが、北海道の場合、従来から好況を維持しているメーカー以外からの新規需要や新たな企業進出もそれほど期待が持てない。
		輸送業（営業担当）	・家畜排せつ物からの堆肥生産や草地事業に対する国の補助金の削減があり、肥料工場の生産は微減傾向にあるものの、紙パルプ工場や飼料工場の生産には変化が出ていないため、全体としては変わらない。
		金融業（企画担当）	・原油価格は低下傾向にあるが、原材料価格は高止まりが続き、企業収益を圧迫する。地方自治体の財政難もあり消費マインドに改善はみられず、総じて景気は横ばいで推移する。
		司法書士	・マンション建築は若干伸びる傾向にあるが、個人住宅の建築については低水準で推移していくことが見込まれることから、土地取引も低調に推移すると見込まれる。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・商談が出てきているものの、高額な投資計画はあまり聞かれず、中古物件の商談が主流であることから、今後についても大きく変わらない。
		その他非製造業〔鋼材卸売〕（従業員）	・4～6月期は金属加工、鉄骨加工とも現状のまま推移することが見込まれ、景気が上向く要素はない。ただし、合理化や生産性向上のための設備投資の気運が高まっていることから、自己資金と資金調達に恵まれた鉄骨、建築関連企業では競争力を高めるため上期中に設備増強を図ることが見込まれる。
	やや悪くなる	出版・印刷・同関連産業（役員）	・受注確保のために価格を極端に下げるケースが多く見受けられる。また、官公需に期待ができない。
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	学校〔大学〕（就職担当）	・各大学において企業説明会が実施されるが、参加企業が増えており、採用活動が活発になっている。
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・千歳市のアウトレットモールの拡張オープンに伴い、雇用の拡大が期待される。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・サービス業、特に販売関連業界では春のキャンペーンに向けた販売員確保が急務であり、パート・アルバイトや派遣の活用を拡大する傾向にあるが、正社員ニーズの拡大にはつながっていない。かつてであれば、春先から建設業が動き出し、それに伴い人材需要も高まっていたが、ここ数年、そのような人材ニーズは起きておらず、この春も大きな変化はないと見込まれる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・求人件数の増加につながるような新規インフラ整備事業や新規出店が見当たらない。
		職業安定所（職員）	・管内事業所における新規高卒者に対する求人意欲は昨年とそれほど変わらない。
		職業安定所（職員）	・市内のホテルが再建を断念し、営業を終了することとなったことから、求職者の増加が予想され、求人倍率の低下が懸念される。

やや悪くなる	求人情報誌製作会社 (編集者)	<ul style="list-style-type: none"> ・求人数は昨年夏にピークを迎え、高止まりしていた感があったが、ここに来てじわじわと下降傾向を示している。企業や店舗の人事担当者に話を聞いても、人材ビジネス、アウトソーシング、携帯ビジネス以外の一般の小売店、飲食店から忙しいという話や景気が良いという話を聞くことが無く、今後についてはやや悪くなることが見込まれる。
悪くなる	-	-